

1 級建設業経理士 登録講習会 カリキュラム

時間	内容
(約 200 分)	講義「監査論と内部統制」 平成20年4月から施行されている改正経営事項審査制度においては、財務諸表の虚偽や誤謬を防止する観点から、会計監査人設置会社、会計参与設置会社に加え、自社の財務諸表についての自主監査を行う企業についての加点措置が新たに創設されました。 この趣旨を踏まえ、監査とは何か、その目的と役割、実施の手順等につき解説するとともに、建設企業における内部統制とは何か、必要な手続と組織、評価方法、財務諸表チェック等についての解説を行います。 講義「建設企業の経営実務」 我が国の会計基準は、IFRS（国際財務報告基準）とのコンバージェンスが進められており、さらに IFRS のアドプションも検討されています。 また、中小企業の会計については、「中小企業の会計に関する指針」をさらに簡略化した「中小企業の会計に関する基本要領（案）」が公表されました。 これら企業会計の動向をはじめとして、企業経営に役立つ最新情報についての解説を行います。
(30 分)	終了確認 講習内容を習得されたことを確認し、登録証を交付します

(注意事項)

- ・当日は、筆記用具をお持ち下さい。

2 級建設業経理士 登録講習会 カリキュラム

時間	内容
(約 300 分)	1. 登録建設業経理士の業務と担うべき役割 ・現代における企業経営と経理部門の役割、登録建設業経理士の役割 ・適正な会計処理と、財務分析を行うことの必要性 ・経営事項審査における「自主監査」とは何か 2. 建設業の経理実務に必要となる、財務諸表論と財務分析の知識 ① 財務諸表論・財務分析概論 ・会計のトライアングル体制／会計公準／企業会計原則／会計基準 ・収益／費用（収益認識、期間費用の処理 etc） ・資産／負債／純資産 ・引当金（貸倒引当金、退職給付引当金、工事損失引当金） ・金融商品会計（金銭債権／債務の評価、有価証券の評価） ・リース取引 ・外貨建取引等 ・税効果会計 ・財務諸表作成 （正常営業循環基準／1 年基準、営業損益計算／経常損益計算／純損益計算） ・キャッシュ・フロー ・財務分析 ② 問題演習等 ・個別計算問題等 ・決算整理→精算表作成→財務諸表作成→財務分析 講習内容は、新会計基準に対応した経理処理をはじめとした財務諸表論、財務諸表分析の知識付与と、これらに関する演習が中心となり、1 級（財務諸表・財務分析）受験対策としても有効です。
(30 分)	登録証の交付等 講習内容を習得されたことを確認し、登録証を交付します。

（注意事項）

- ・当日は、筆記用具及び計算機をお持ち下さい。
- ・昼休みは 60 分です。昼食は、各自ご準備下さい。